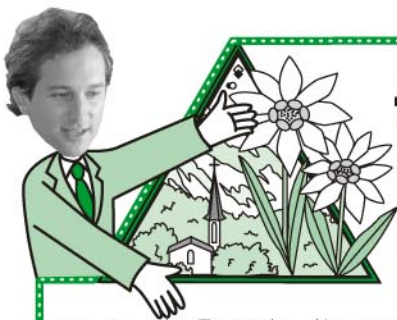




クリストフ・ソーターの「バーンヴェニユ・アン・スイス」

スイス訪問

1年ぶりにスイスに帰国しました。鏡野町友好都市交流事業の際に、鏡野町民の12人のグループと一緒に故郷で5泊6日を過ごしました。

鏡野町の方と一緒にこの体験ができ、短時間でも地元風景を見ることが、家族と会うことなど、とても楽しかったです。今回は充実した日程で、3日間南西部に位置するジュネーヴ市から東北部に位置するチューリッヒ市までスイスを通り抜けました。

朝6時に鏡野町を離れて20時間の旅を終えてから、10月4日の夜にジュネーヴ市に着きました。私たちは直接にホテルに行き、寝る前に部屋でお弁当を食べました。翌日の朝はジュネーヴ市を見物する予定で、まずはジュネーヴ市にある多様な国際機関の地区（国連、赤十字）を見学してから、レマン湖畔（オーヴィーヴ公園）を散歩しながら大噴水（高さ140m）の写真を撮影しました。そして、歩きながら旧市街（大聖堂）とバスティヨン公園（宗教革命記念碑）にある歴史建造物を見たり、花の時計のあるイギリス公園やジュネーヴ出身の偉大な哲学者・思想家ジャン・ジャック・ルソーの銅像があるルソー島に行ったり、たくさん名所を回って大変興味深い午前中でした。最後に、マノールと言うデパートでお土産の買い物を楽しみました。私は久しぶりに地元に散歩して、本当に感動しました。時間があれば、私の気に入っている場所など、皆に見せたかったです。昼はジュネーヴ市内のレストランで食事をとり、しばらく休むことが出来ました。食べてから、イヴェルドン・レ・バン市に出発しました。



イヴェルドン市まではバスで1時間ぐらいかかるので、日本と全く違うスイスの景色を楽しめる時間となりました。イヴェルドン市に着いたら、最初はペスタロッツ資料館長がペスタロッツについて説明してくださり、そしてペスタ

ロッツ資料館を見学しました。説明はとても面白くて、皆がペスタロッツの生涯について学びました。続いて市役所と旧市街を見学してから、ホストファミリーとの対面の時間が来ました。対面式は市役所の地下で行われ、乾杯をして、暖かい歓迎をうけました。私たちは笑顔でホストファミリーとそれぞれの家に帰りました。対面式の時、ホストファミリーは次の日の日程を私に教えてくれ、鏡野町訪問団の為に素晴らしいプログラムを作ってくれたと思い、感謝しました。

土曜日はホストファミリーと一緒に自由行動の日でしたが、イヴェルドン市当局と友好都市委員会の方々が昼食会を開いてくださり、ホストファミリーと一緒に楽しい時間を過ごしました。スピーチやプレゼントの交換をしたり、熱心な話をいっぱいしたり、素晴らしい食事が出来ました。限られた時間だったので大半のホストファミリーが食事の後、早々に鏡野町の方を連れて再度観光に出かけました。周辺の山で行われる行事を見に行ったり、レマン湖で船旅をしたり、あるいは自動仕掛け

機械の博物館の見学をしたり、皆、様々な楽しい活動が出来たようです。

10月7日、お別れの朝、さようならを言いながら目に涙を浮かべている方もいました。皆さんの話を聞いたら、忘れられない時が過ぎたと話していました。言葉の壁を越え、暖かい交流ができて、嬉しく思いました。



最後の日はスイスの首都ベルンとスイス最大の都市チューリッヒを見物しました。時差ぼけと前日の活動でへとへとになっていましたが、バスの移動時間を有効に使って、少し体力を回復することが出来ました。ベルンには9時半に着いて、ベルン旧市街が眺望できるバラ公園を散策した後、熊公園に寄って旧市街に行きました。そこで、首都ベルンを代表する政治の中枢機関である連邦議事堂や16世紀に作られた仕掛け時計の塔や古い水飲み場とミュンスター大聖堂などを見学しました。チューリッヒに出発する前、ベルンで昼ごはんを食べ、少し休みました。ペスタロッツの生まれた都市チューリッヒでは、バーンホフシュトラッセ（駅前大通り）にあるペスタロッツ銅像の前で写真を撮ってから旧市街（ニーダードルフ地区）を通り抜けました。チューリッヒ湖岸まで歩いて行って、そこに建っている2つの見事な大教会（フラウミュンスター修道院附属教会とグロスミュンスター大聖堂）を見学しました。そして、日曜日でも開いているお土産の店で（スイスやヨーロッパの国々は日曜日に店が皆閉まっている）買い物してから、ホテルに行きました。夜はゆっくりして、みんなで最後の食事を楽しみました。この日は私にとって、非常に面白かった一日になりました。自分の国スイスでも、やはりびっくりするほど見たことが無かったものや名所などがいっぱいあって、改めて大変良い勉強が出来ました。現地ガイドさんにありがたいなと思いました。

10月8日の朝にチューリッヒ国際空港からミラノに出発しました。良い天気でアルプス山脈の素晴らしい風景を空から見晴らしました。ミラノから関西空港までの飛行はとても長いですが、疲れのせいか、機内で参加者はよく眠っていました。10月9日の午後に鏡野町に着き、解団式を行ってから、皆はスイスのたくさんの思い出を持ってそれぞれの自宅に帰りました。私にとって、この旅行は一生忘れられない体験でした。イヴェルドン・レ・バンでのホームステイは素晴らしいものとなり、鏡野町の皆さんとイヴェルドン市のホストファミリーとの交流を見たら、是非この事業が将来に発展することを心から希望しています。この国際交流を通して、何より、心と心が通じると言うことの大切さが分かりました。旅行を企画してくださった方々、そして今回の参加者の皆さん心からありがとうございました。

最後に「Merci beaucoup メルシ・ボク」を覚えましょう。フランス語では「ありがとうございます」と言う意味です。

それでは、また今度会いましょう。



鏡野町身体障害者福祉協会からのお知らせ

身体障害者福祉法に基づいて設置され、身体障害者の福祉の増進を図るための民間協力者として、次の7名の方々が身体障害者相談員となっています。

鏡野町身体障害者福祉協会の入会（年会費500円）等、お気軽にご相談ください。

氏 名	住 所	電話番号
土 居 武 雄	鏡野町小座749-1	0868-54-0412
太 田 勝	鏡野町瀬戸401-8	0868-54-3226
岡 田 宏	鏡野町円宗寺68	0868-54-0510
小 林 幸 三	鏡野町井坂272	0868-52-2547
鈴 木 陳 夫	鏡野町下斎原361	0868-52-0208
松 本 倫	鏡野町上斎原2170-116	0868-44-2844
西 祐 信	鏡野町富西谷242	0867-57-2354